



キャンプ利用状況 (9月9日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 2,495 名 *9/8 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
23	21	35	32	75	65	21	37	43	38

- ・まもなく 3.11 の大震災から半年を迎えます。復旧から復興へと、被災地ではその目指すべき方向も変わってきております。沿岸部のボラセンでも、すでに大槌町では 9 月 1 日に「大槌町復興支援ボランティアセンター」へ名称を変え、宮古市では 9 月 13 日に「宮古市生活復興支援センター」と衣替えの予定で、今後取り組もうとする方向を明らかにしております。
- ・沿岸被災地や被災された方々にとって、脆弱な復旧基盤の上に立ちながら復興に向かうことは、大変な困難を伴うものと思われまます。私たちボランティアは、自身のやりがい感や達成感を強く主張するあまり、被災された方々にとって本当に必要な支援を見失うことのないよう気をつけたいものです。

磯鶏地区のサロン活動

- キャンプでは、宮古市の仮設住宅集会所・談話室 2~3 か所のサロン活動に、連日出かけしています。前例のないところから始めるには、さまざまな工夫や働きかけが必要です。
- ここ磯鶏地区の集会所では、住民の方々がお仲間を誘い合って、手提げ袋、巾着袋、ブックカバー等の小物作りを行っています。こういう自発的な活動が、住民の方々の仲間づくりや相互の見守り活動に繋がっていきます。



AED 講習会開く

- 「救急の日」のきょう、キャンプにおいて日赤岩手県支部さんのおふたりに講師をお願いし、スタッフを対象に AED の使用に関する救急法講習会を開きました。日赤さんからは、すでにキャンプに AED3 台のご寄贈をいただいているところです。必要なときに迅速かつ適切に救命手当を実施することが不可欠です。スタッフも、新たな気持ちで真剣に取り組みました。

